

2019年度 第2四半期 業績概要

注意事項

- **当社は2019年度より、グループ内の機能最適化を目的とした組織変更を行い、セグメント区分の見直しを行っています。加えて、管理区分の見直しも併せて行い、仕向先の国・地域の分類を変更しています。これにより2018年度の数値は、変更後のセグメント区分および仕向け先の国・地域の分類に組み替えた上で算出しています。(P20,21参照)**
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2019年3月1日～2019年8月31日)

1. 2019年度 上期 連結業績

- 2019年度 上期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上高構成比
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2019年度 上期における取り組み

2. 2019年度 下期・通期 連結業績見通し

- 2019年度通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2019年度下期における取り組み

3. 参考資料

- セグメント変更による過年度の組替表示
- 仕向先変更による過年度の組替表示
- 設備投資,研究開発費,為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ など



ACサーボモータ
Σ-7シリーズ

安川インバータ
新シリーズ



GA500



マトリクス
コンバータ
U1000

GA700

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接、塗装用途向け
 - FPD搬送、ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8



新型7軸アーク溶接
ロボット

MOTOMAN-AR1440E



人協働ロボット
MOTOMAN-HC10DT
防じん・防滴仕様

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 鉄鋼プラント用電機システム など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



太陽光発電用
パワーコンディショナ
XGI1000 65kW



上下水道用
電気計装システム



連続鋳造設備

その他

【主要製品】

- ・ 物流サービス など

1. 2019年度上期 連結業績

2019年度 上期 実績（連結）

- 米中貿易摩擦の長期化による影響拡大や半導体関連の投資先送りなどにより減収減益

	2019年度	2018年度	前年同期比	
	上期	上期	増減額	増減率
売上高	2,118億円	2,482億円	▲365億円	▲14.7%
営業利益	125億円	305億円	▲181億円	▲59.2%
経常利益	128億円	306億円	▲178億円	▲58.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	88億円	261億円	▲173億円	▲66.3%

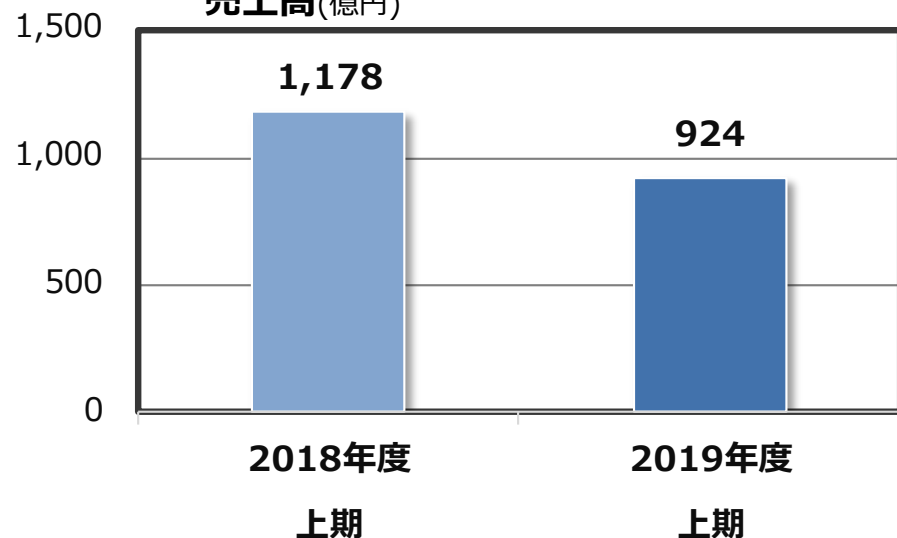
2019年度 上期 実績（セグメント別）

- モーションコントロール・ロボットともに減収減益
- システムエンジニアリングは新規連結影響により増収

	2019年度上期		2018年度上期		前 年 同 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売 上 高	2,118		2,482		▲365	▲14.7%
モーションコントロール	924		1,178		▲254	▲21.6%
ロボット	806		882		▲76	▲8.6%
システムエンジニアリング	274		235		+39	+16.6%
その他	114		188		▲73	▲39.1%
営 業 利 益	125	5.9%	305	12.3%	▲181	▲59.2%
モーションコントロール	109	11.8%	224	19.0%	▲115	▲51.3%
ロボット	34	4.2%	92	10.5%	▲59	▲63.7%
システムエンジニアリング	▲7	▲2.7%	▲7	▲2.9%	▲0	-
その他	▲2	▲1.6%	6	3.1%	▲8	-
消去または全社	▲9	-	▲10	-	+1	-
経 常 利 益	128	6.0%	306	12.3%	▲178	▲58.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	88	4.2%	261	10.5%	▲173	▲66.3%

主要事業の概要_モーションコントロール

売上高(億円)



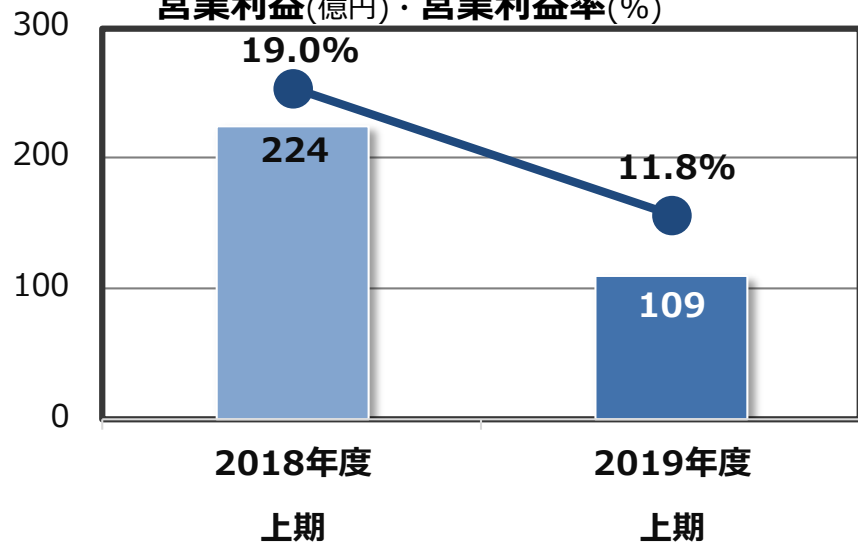
【売上高】

- ACサーボはスマートフォン関連需要の低迷や半導体関連の投資先送りに加え、米中貿易摩擦の長期化に伴う影響拡大により減収
- インバータは、中国での環境・社会インフラ関連や米国オイル・ガス関連の需要を受け堅調

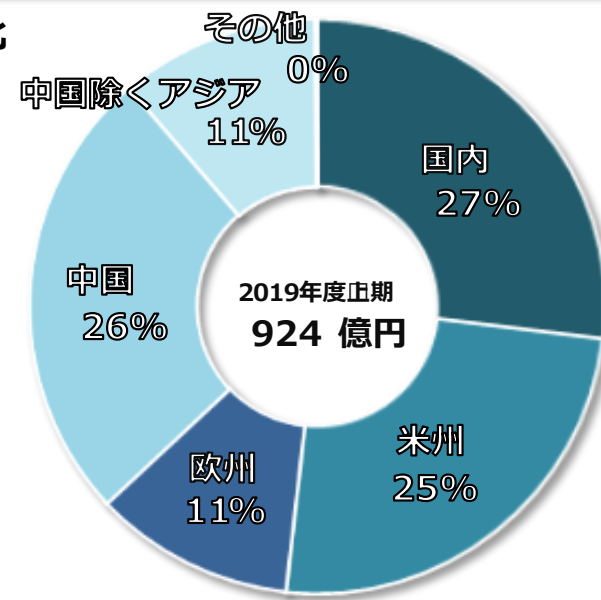
【営業利益】

- 需要低迷の影響によりACサーボの売上高が減少したことに加え、操業度の悪化により営業利益は減少

営業利益(億円)・営業利益率(%)

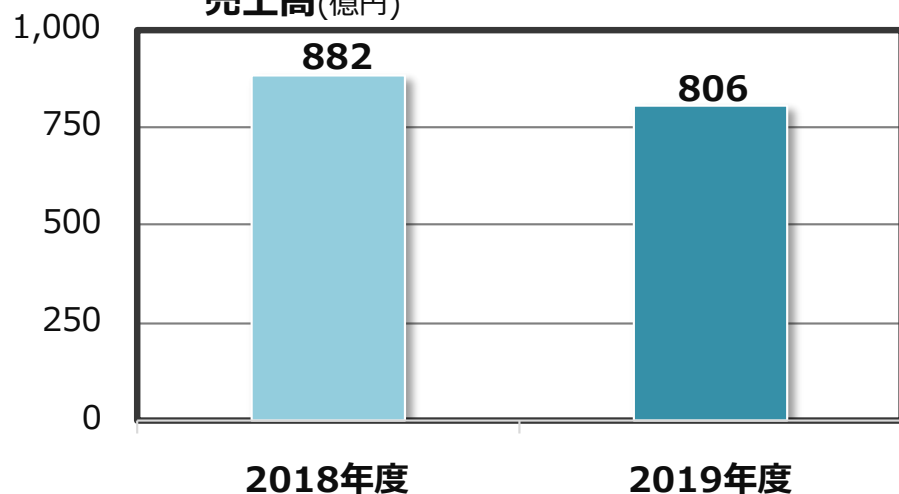


仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_ロボット

売上高(億円)



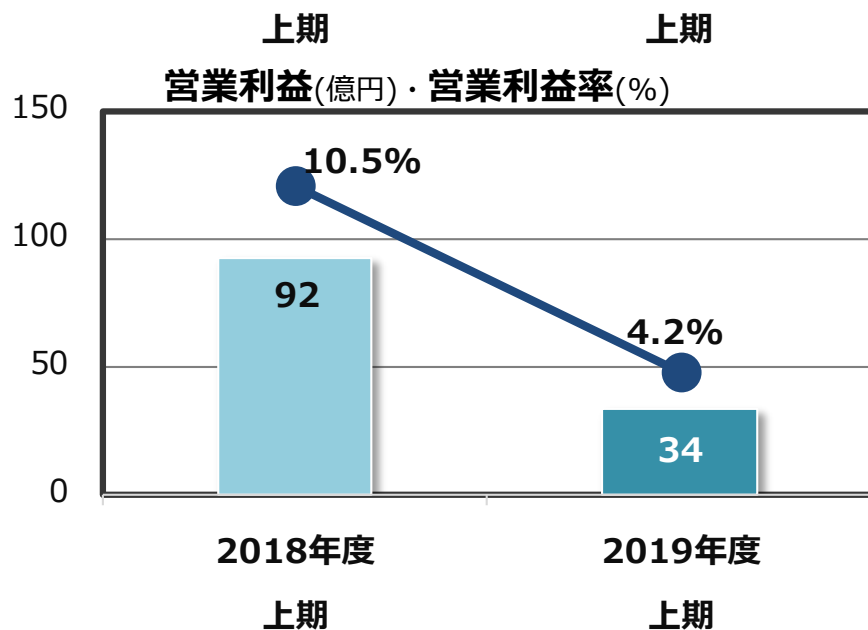
【売上高】

- 日本は自動車関連を中心に底堅く推移した一方
その他の地域は景気低迷の影響を受け減収
- 特に中国においては、米中貿易摩擦の影響を大きく
受け低調

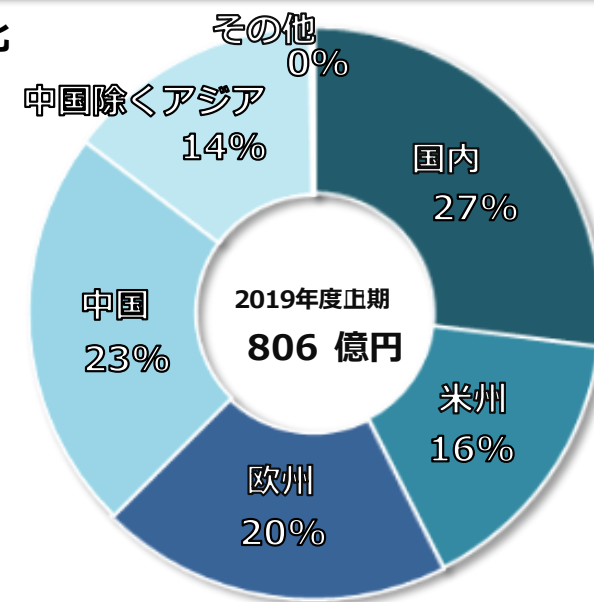
【営業利益】

- 売上減少と在庫調整により操業度が悪化し減少

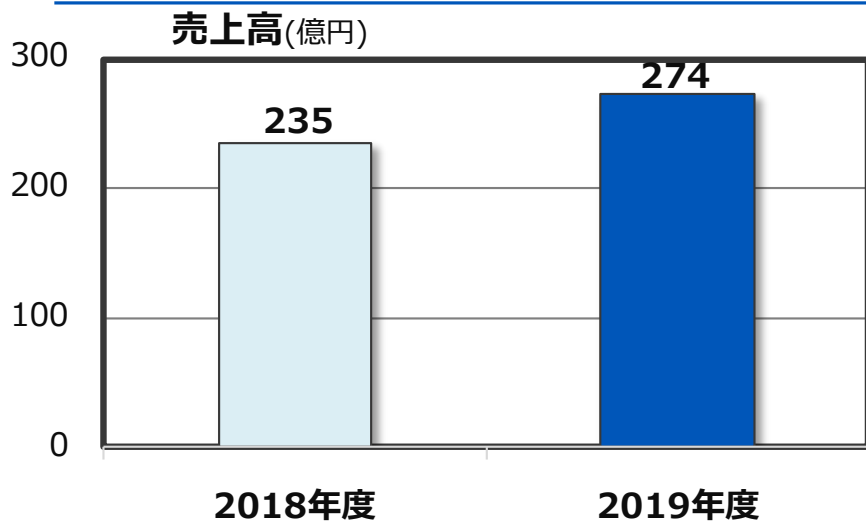
営業利益(億円)・営業利益率(%)



仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング

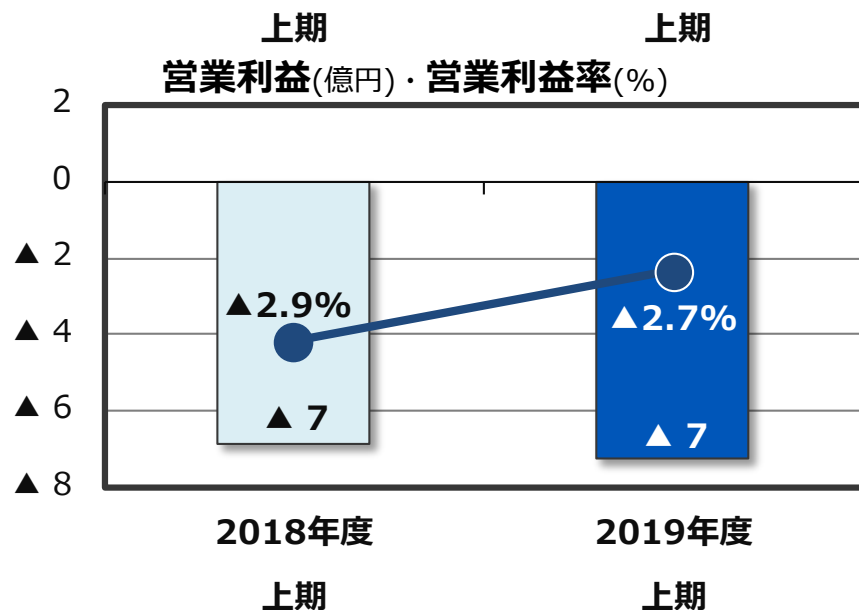


【売上高】

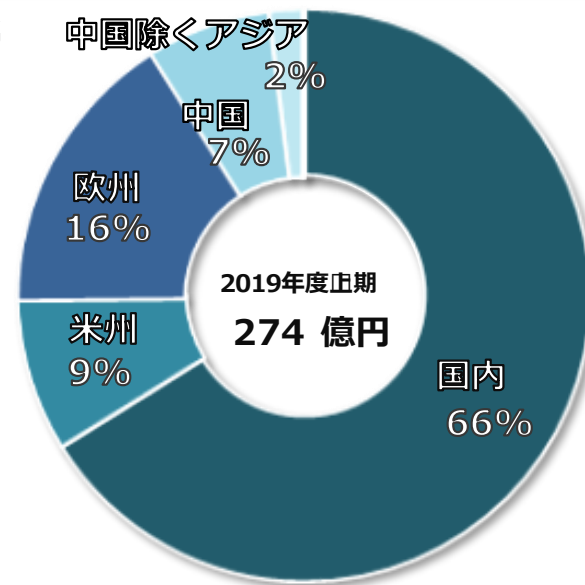
- 国内における上下水道用電気システム関連の売上が底堅く推移し、港湾クレーン向けの売上も堅調
- 一方、太陽光発電用パワーコンディショナの販売は減少し、鉄鋼プラント関連では案件の後倒しにより減収

【営業損益】

- 営業損益は僅かに悪化

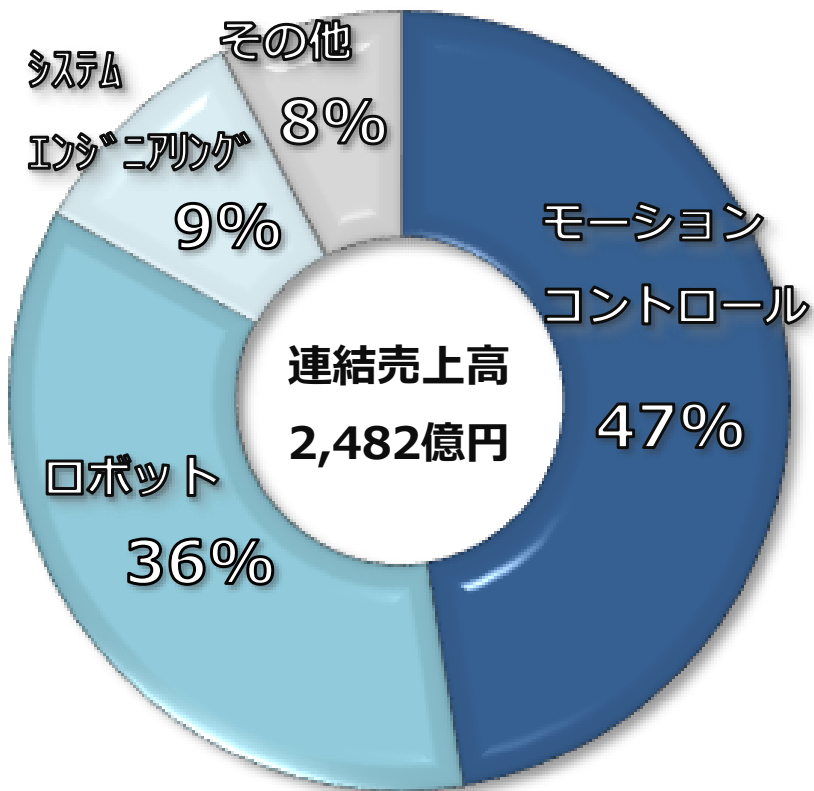


仕向先別売上高構成比

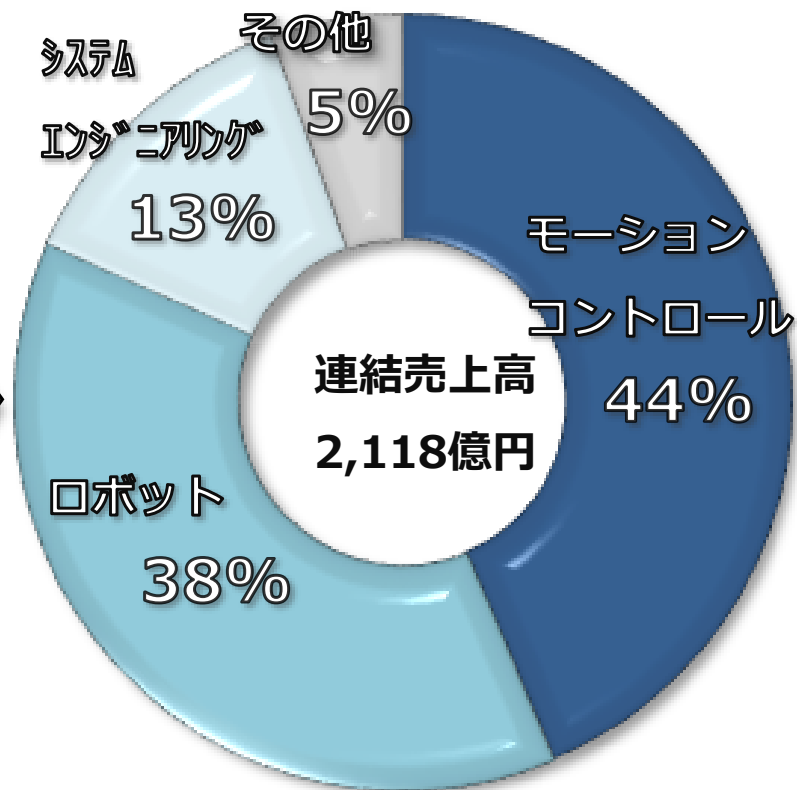


事業セグメント別売上高構成比

2018年度 上期



2019年度 上期



仕向先別売上高（2018年度 上期 → 2019年度 上期）

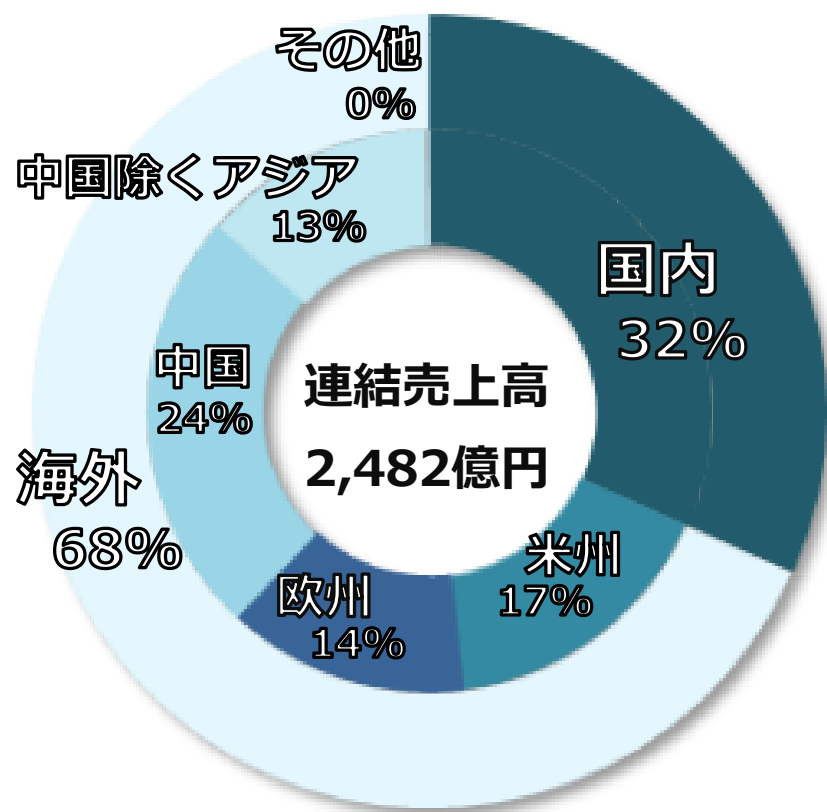
● 中国・アジアを中心に減収

(単位：億円)	2019年度 上期	2018年度 上期	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売 上 高	2,118	2,482	▲365	▲14.7%
国内	748	786	▲37	▲4.8%
海外	1,369	1,697	▲327	▲19.3%
米州	380	410	▲30	▲7.3%
欧州	309	343	▲34	▲9.8%
中国	452	608	▲156	▲25.7%
中国除くアジア	225	333	▲107	▲32.3%
その他	3	3	▲0	▲4.4%

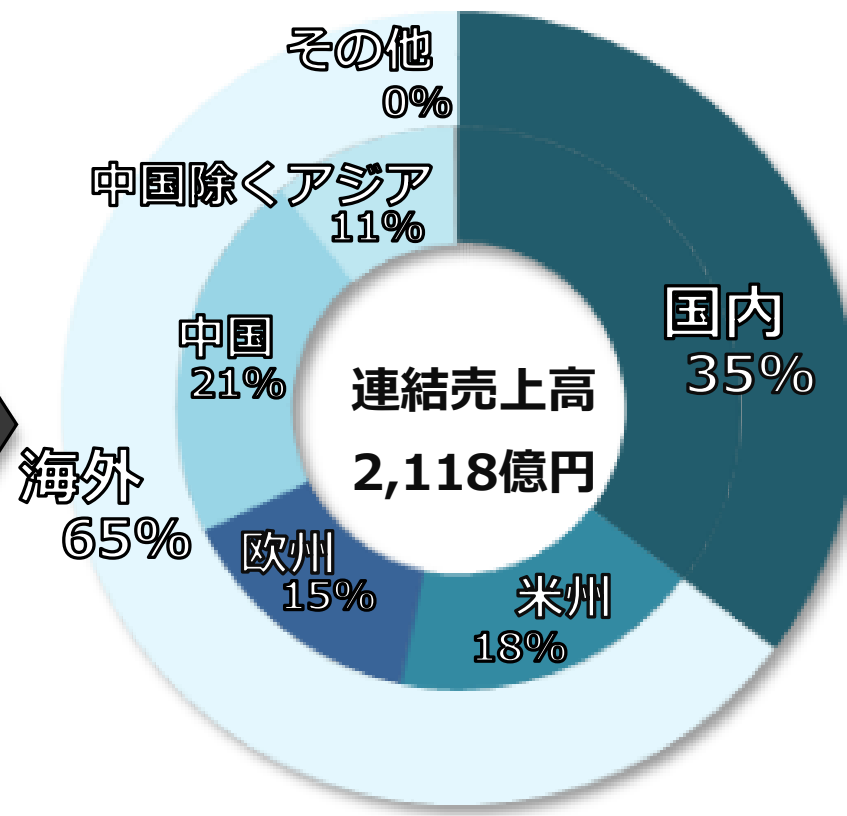
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

仕向先別売上高構成比

2018年度 上期



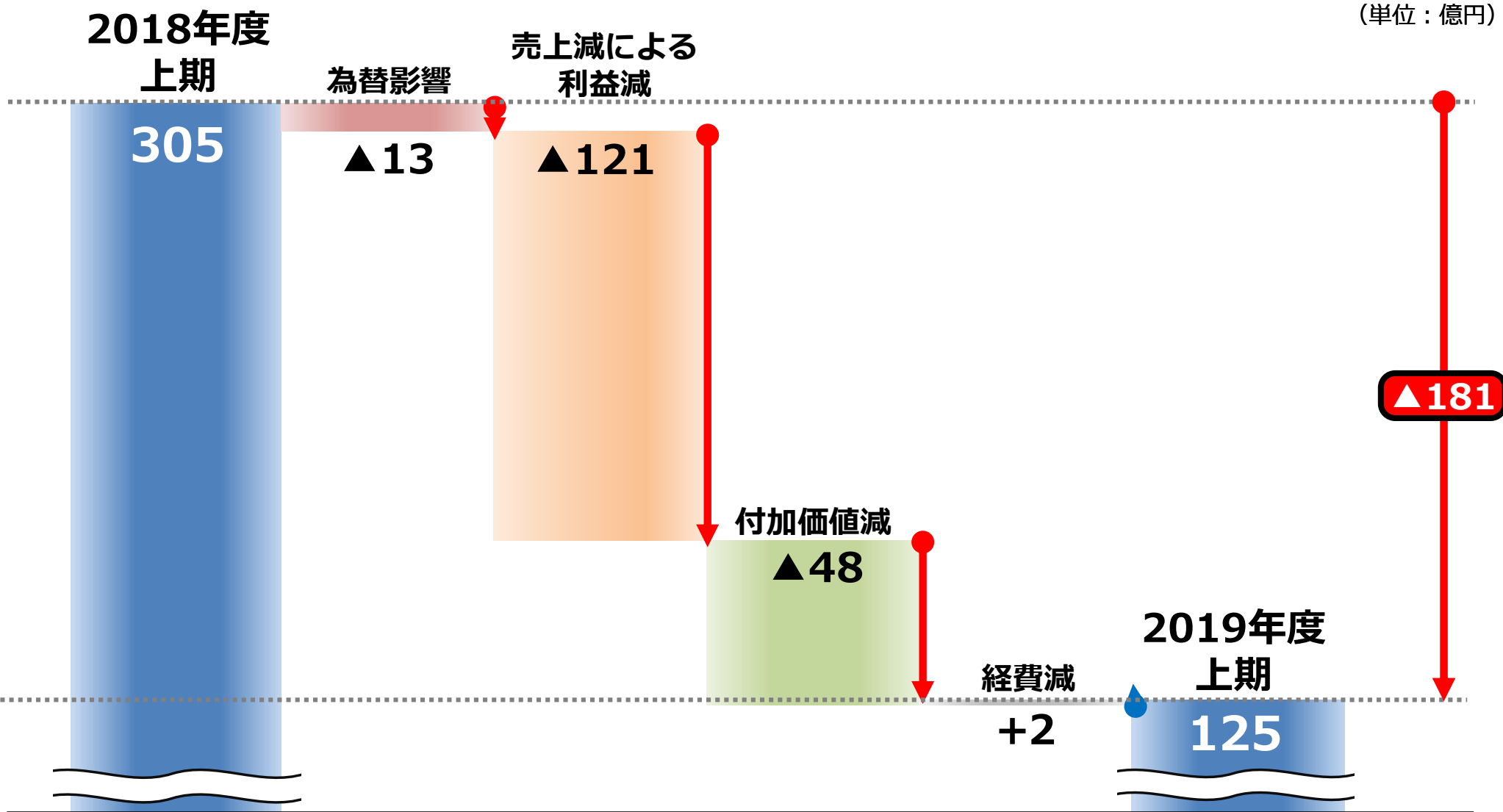
2019年度 上期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2018年度上期 → 2019年度上期）

（単位：億円）



2019年度上期における取り組み

➤ 新市場攻略のためのロボットラインアップ強化

- ➔ 防じん・防滴仕様タイプの人協働ロボット
「MOTOMAN-HC10DT」を発売（19年7月）
- ➔ 様々な分野の自動化に貢献する
新型多用途適用型ロボット
「MOTOMAN-GP20HL」を発売（19年6月）
- ➔ 異物混入リスクを低減させた人協働ロボット
「MOTOMAN-HC10DTF」を参考出展（19年7月 FOOMA JAPAN）

MOTOMAN-HC10DT
防じん・防滴仕様



MOTOMAN-GP20HL



FOOMA JAPANにて
人協働ロボットによる
ケーキデコレーションを実演

➤ ESG情報の開示強化

- ➔ 統合報告書“YASKAWAレポート2019”において
非財務情報の活動目標(KPI)を設定・開示
<https://www.yaskawa.co.jp/ir/materials/annual>
- ➔ 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）への賛同を表明
<https://www.yaskawa.co.jp/newsrelease/news/88569>



YASKAWAレポート
2019

2. 2019年度下期・通期 連結業績見通し

2019年度 通期見通し（連結）

・足元の受注動向を踏まえ、通期見通し(2019/4/11発表) を下方修正

	2019年度 予想	2018年度 実績	前年度比		2019年度 前回予想※
			増減額	増減率	
売上高	4,200億円	4,746億円	▲547億円	▲11.5%	4,650億円
営業利益	250億円	498億円	▲248億円	▲49.8%	465億円
経常利益	260億円	508億円	▲248億円	▲48.9%	480億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	190億円	412億円	▲222億円	▲53.8%	350億円

※ 2019年4月11日発表

2019年度 通期見通し (セグメント別)

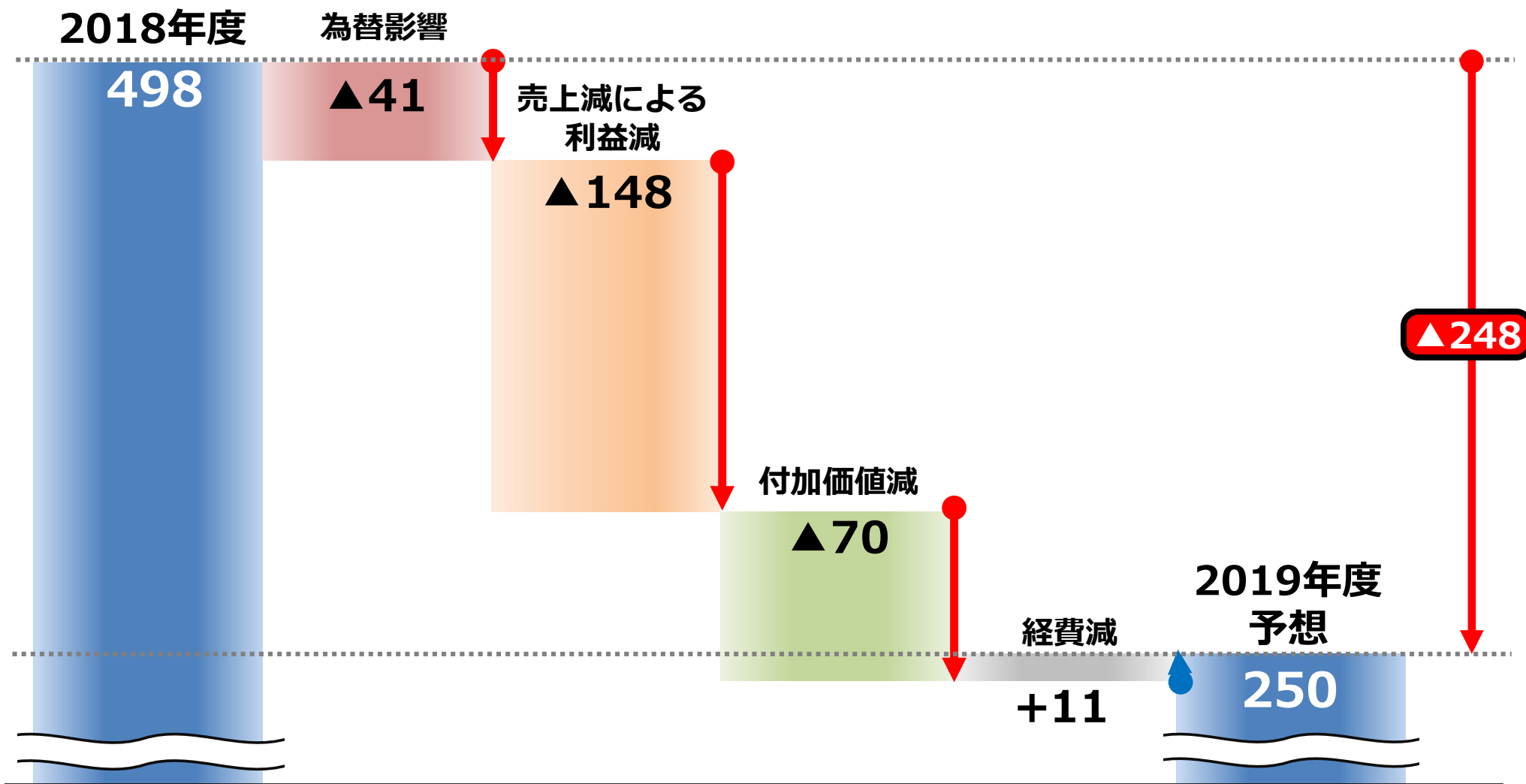
(単位：億円)	2019年度		2018年度		前年度比		2019年度	
	予想	利益率	実績 セグメント組換え後※1	利益率	増減額	増減率	前回予想※2	利益率
売上高	4,200		4,746		▲547	▲11.5%	4,650	
モーションコントロール	1,813		2,133		▲320	▲15.0%	2,070	
ロボット	1,575		1,780		▲205	▲11.5%	1,757	
システムエンジニアリング	569		516		+52	+10.2%	546	
その他	243		318		▲74	▲23.4%	276	
営業利益	250	6.0%	498	10.5%	▲248	▲49.8%	465	10.0%
モーションコントロール	204	11.3%	342	16.1%	▲139	▲40.5%	306	14.8%
ロボット	66	4.2%	173	9.7%	▲107	▲61.8%	175	10.0%
システムエンジニアリング	0	0.0%	▲3	▲0.5%	+3	-	7	1.2%
その他	▲1	▲0.6%	4	1.4%	▲6	-	▲4	▲1.3%
消去または全社	▲19	-	▲20	-	+1	-	▲20	-
経常利益	260	6.2%	508	10.7%	▲248	▲48.9%	480	10.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	190	4.5%	412	8.7%	▲222	▲53.8%	350	7.5%

※1 2018年度実績の数値は、2019年度より行うセグメント区分の見直し影響を反映した、組換え後の表示となっています。
詳細はP20を参照ください。

※2 2019年4月11日発表

営業利益増減要因分析（2018年度 → 2019年度予想）

（単位：億円）



2019年度下期における取り組み

➤ “i3-Mechatronics”のビジネスモデル確立

➔ 開発力の強化

- ・セル生産を効率化する「YRMコントローラ^(仮称)」の開発を加速し、IIFES展^(11月)、国際ロボット展^(12月)での参考出展を予定
- ・安川テクノロジーセンタ^(仮称)開設に向けた準備加速
(2020年度開設予定)

➔ 販売力の強化

- ・子会社[※]が担当してきたサービス事業を取り込み、迅速なソリューション提案と製品品質の更なる向上を実現 ※「安川エンジニアリング(株)」
- ・半導体市場の立ち上がりに向けた新製品の投入準備

➔ 生産力の強化

- ・安川ソリューションファクトリ生産方式を中国のACサーボ工場および国内のインバータ・ロボット工場へ展開



安川テクノロジーセンタ^(仮称)
完成イメージ図

➤ “デジタル経営”による経営基盤の強化

➔ リアルタイムな経営管理と先手を打つ経営スタイルを確立

- ・IT活用によるデータの「見える化」を推進し、経営情報のグローバル一元化を実現

3. 参考資料

セグメント変更による過年度の組替表示（2018年度実績）

- 2019年度より、従来システムエンジニアリングに含めていた、安川モートル社のPMモータ事業などをモーションコントロールに移すなど、セグメント区分を変更

2018年度（セグメント変更後）								変更 影響額 (通期)
(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	1,282	1,200	2,482	1,131	1,133	2,264	4,746	-
モーションコントロール	618	560	1,178	503	452	955	2,133	+78
ロボット	439	443	882	436	462	898	1,780	-
システムエンジニアリング	119	115	235	124	158	282	516	▲78
その他	106	82	188	68	62	130	318	-
営業利益	172	133	305	111	81	193	498	-
モーションコントロール	124	99	224	73	46	119	342	+3
ロボット	50	42	92	44	37	81	173	-
システムエンジニアリング	▲4	▲3	▲7	1	3	4	▲3	▲3
その他	6	▲0	6	▲1	0	▲1	4	-
消去または全社	▲5	▲5	▲10	▲4	▲5	▲9	▲20	-

仕向先変更による過年度の組替表示（2018年度実績）

- ・ 2019年度より、管理区分の見直しを行い、仕向先の国・地域の分類を変更
- ・ 「その他」に含めていた中近東およびアフリカの実績を「欧州」に移行する
- ・ 「中国除くアジア」に含めていた香港の実績を「中国」に移行する

2018年度（仕向先変更後）								変更 影響額 (通期)
(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	1,282	1,200	2,482	1,131	1,133	2,264	4,746	-
国内	402	384	786	353	406	760	1,545	-
海外	880	816	1,697	778	727	1,504	3,201	-
米州	198	212	410	223	216	439	849	-
欧州	172	170	343	195	167	361	704	+39
中国	342	266	608	230	197	426	1,034	+32
中国除くアジア	165	167	333	129	147	277	609	▲32
その他	2	1	3	1	1	1	4	▲39

設備投資・研究開発費の状況/為替レート/感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位：億円)

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)
設備投資額	196.9	356.5	200.0
減価償却費	126.9	143.1	150.0
研究開発投資	190.7	207.9	210.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位：円)

	2017年度 (実績)			2018年度 (実績)			2019年度 (想定)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期
対 米ドル	111.5	111.5	111.5	109.3	111.7	110.5	109.2	105.0	107.1
対 ユーロ	124.4	133.3	128.8	129.9	127.8	128.9	122.6	120.0	121.3
対 元	16.35	17.08	16.71	16.81	16.28	16.56	15.91	15.00	15.46
対 ウォン	0.099	0.101	0.099	0.100	0.099	0.100	0.093	0.090	0.092

為替感応度

(単位：億円)

	1%変動による影響額 (2019年度_通期)	
	売上高	営業利益
米ドル	約 8.6	約 1.7
ユーロ	約 6.7	約 1.3
元	約 8.8	約 2.1
ウォン	約 2.3	約 1.3

B/S 構造の推移

2019年2月28日時点

- 自己資本比率 54.1%
- 自己資本 2,467億円
- 有利子負債 487億円
- D/Eレシオ 0.20
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- 棚卸資産 1,115億円
(回転月数) (2.8ヶ月)
- ROE 17.1%
- ROIC 17.2%

2019年8月31日時点

- 自己資本比率 53.1%
- 自己資本 2,287億円
- 有利子負債 700億円
- D/Eレシオ 0.31
(ネットD/Eレシオ) 0.15
- 棚卸資産 1,015億円
(回転月数) (2.9ヶ月)

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)
 ※ ROIC = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 投下資本

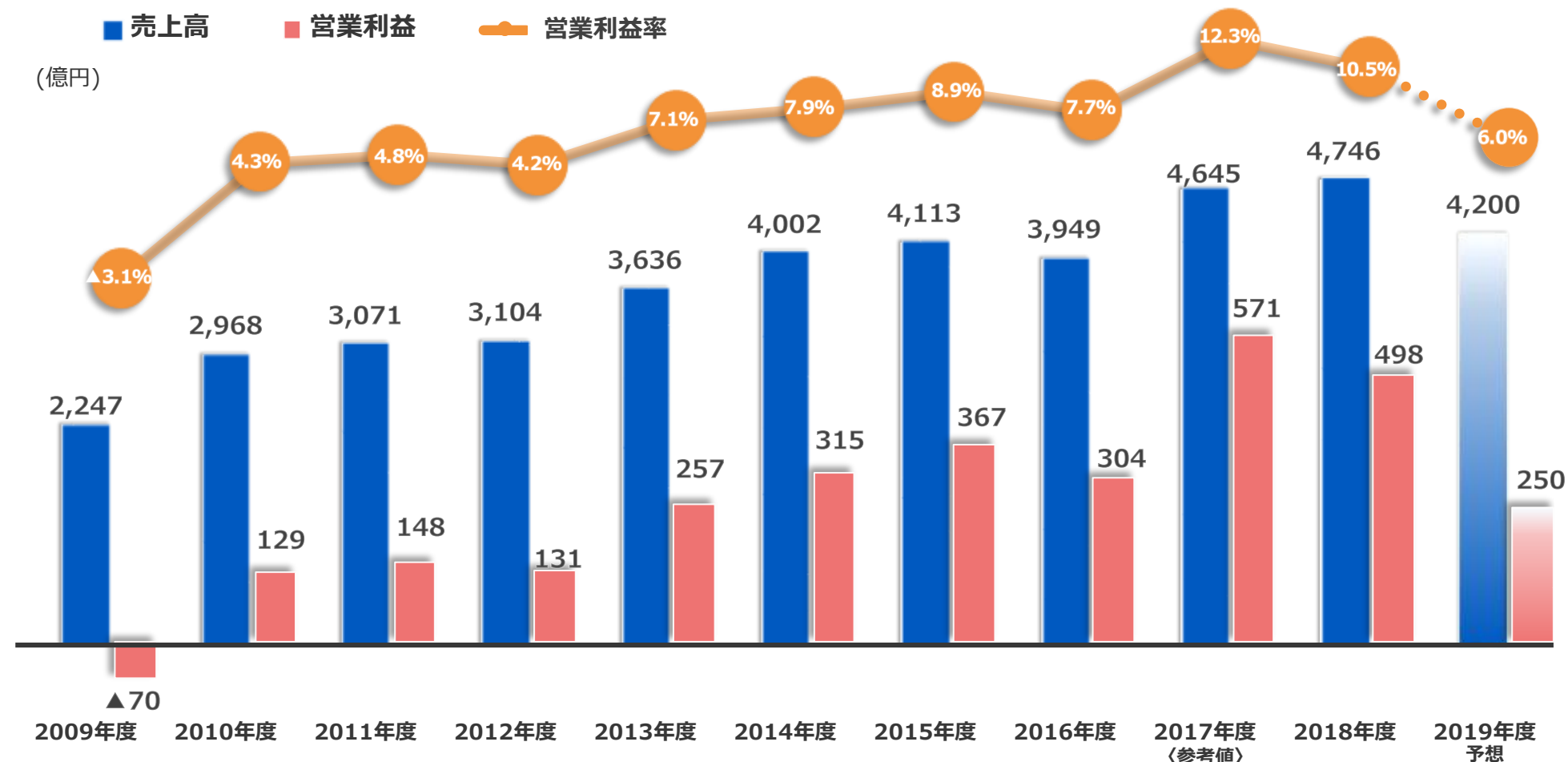
(億円)



(億円)

営業CF	40	25	64	246	240	290	320	338	461	328	69
投資CF	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 105
フリーCF	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	272	57	▲ 36

連結売上高・営業利益推移（2009年度～2019年度予想）



Challenge 100

Realize 100

Dash 25

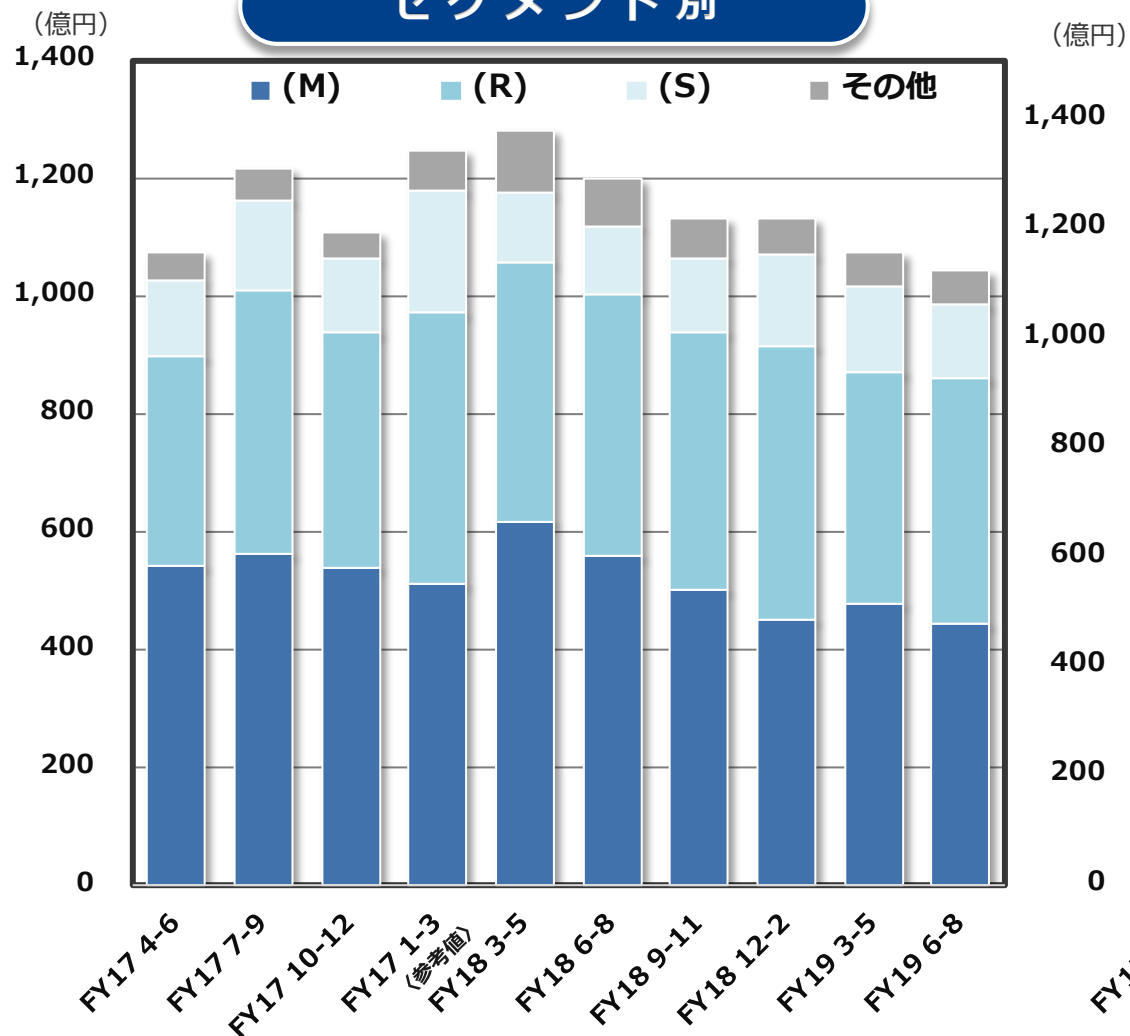
Challenge 25

中期経営計画

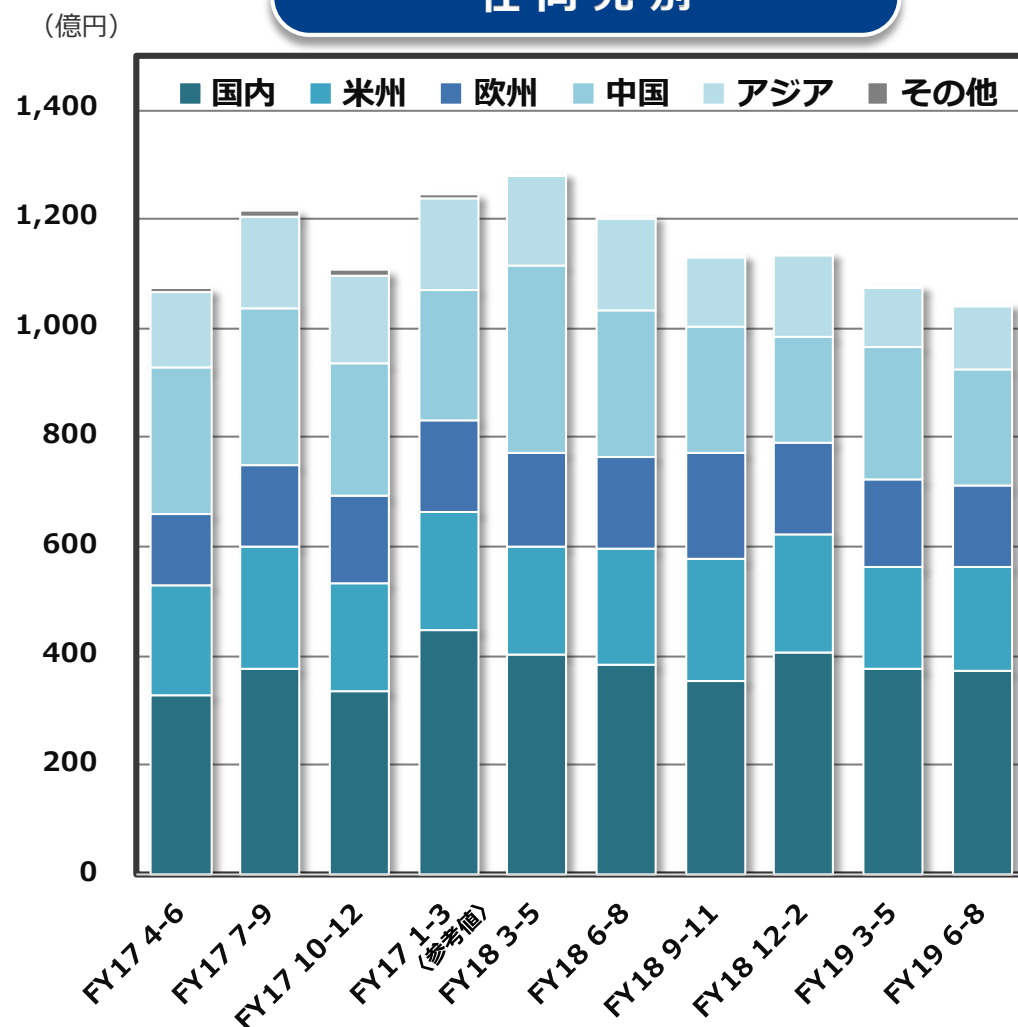
[注] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上高推移

セグメント別



仕向先別



[注. 1] FY17 1-3のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

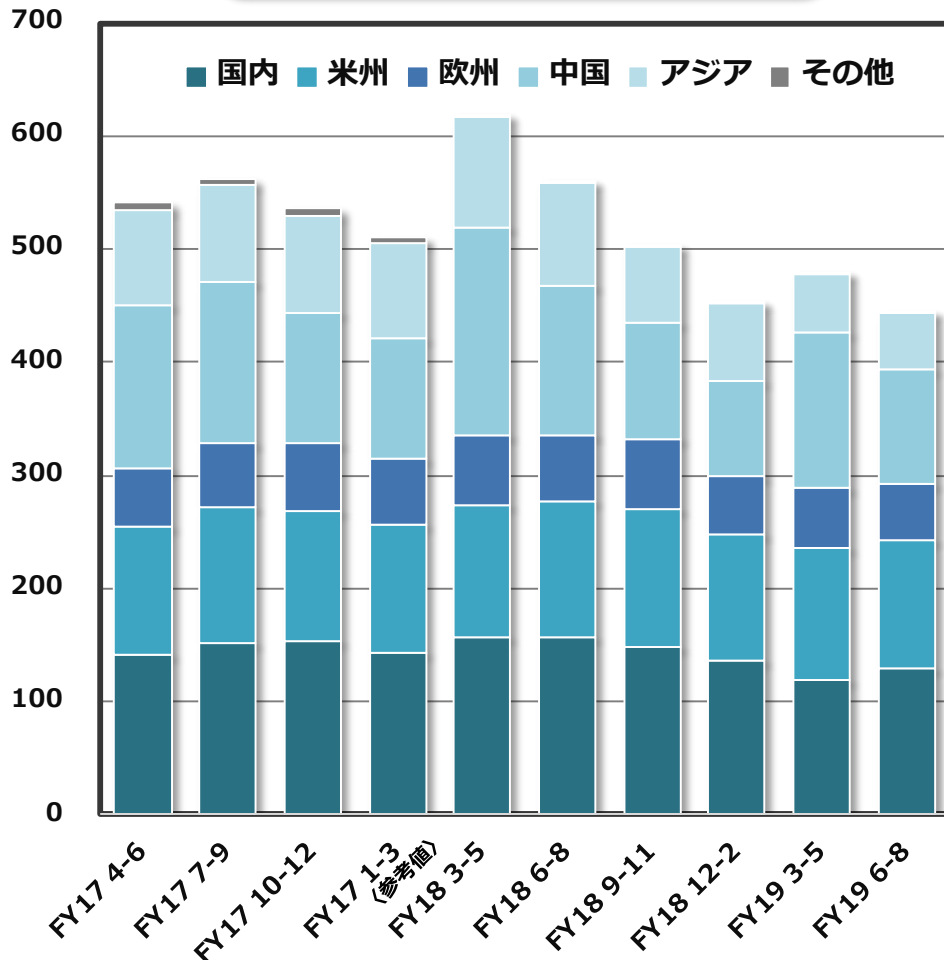
[注. 2] FY17のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

[注. 3] 表記: (M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

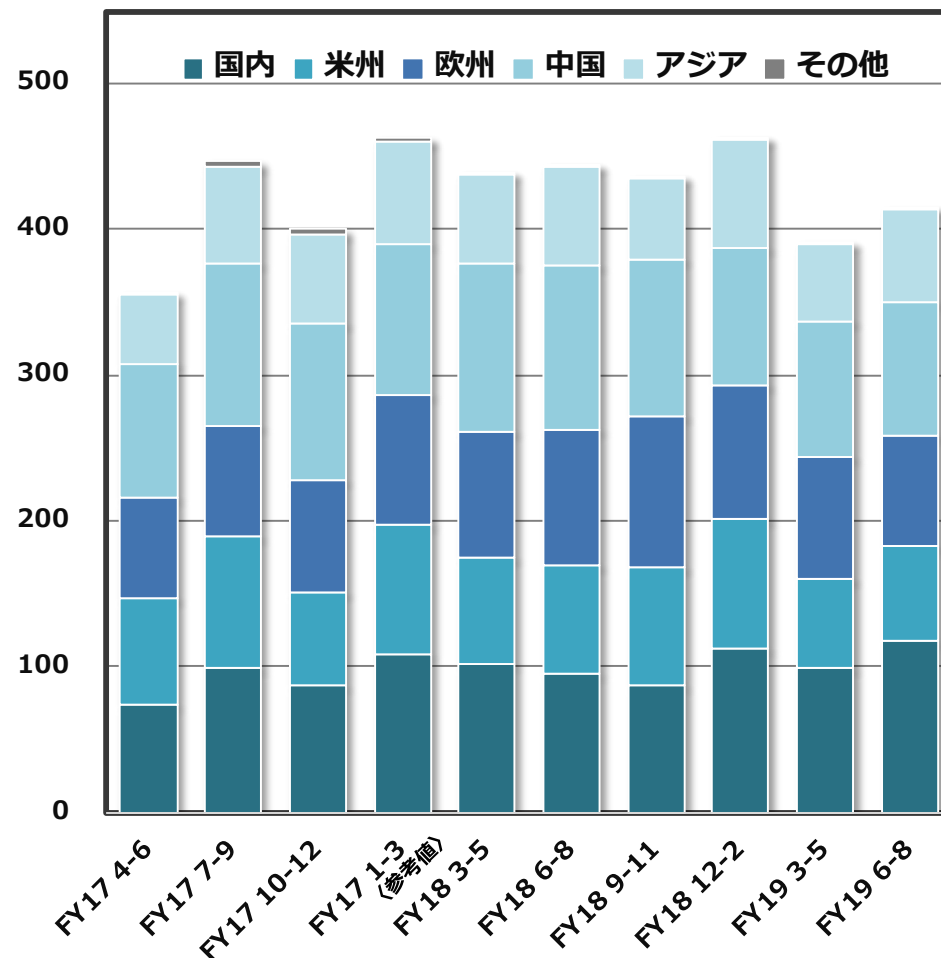
モーションコントロール

(億円)



ロボット

(億円)

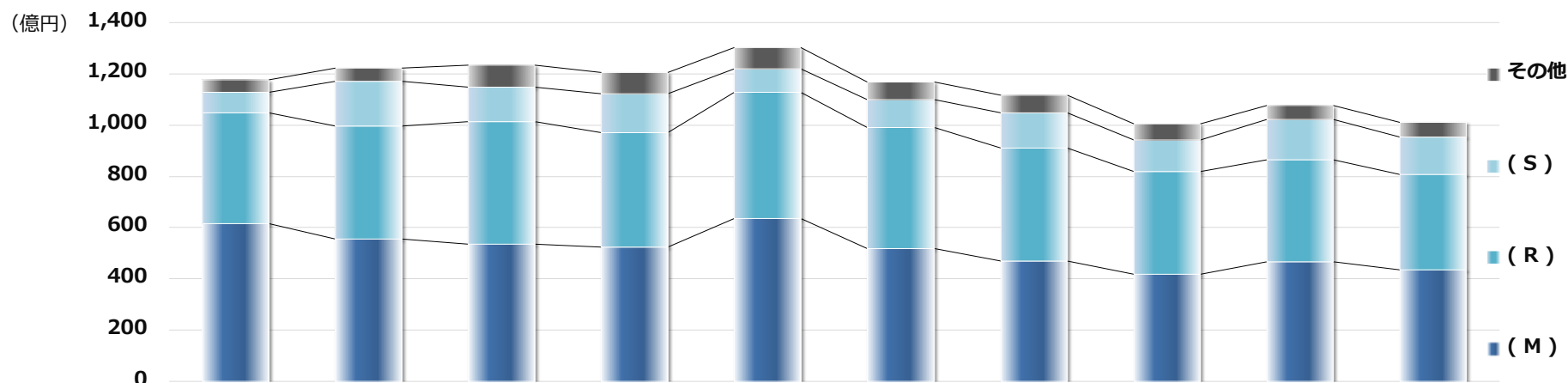


[注. 1] FY17 1-3のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注. 2] FY17のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



FY2017						FY2018				FY2019	
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期	6-8月期	9-11月期	12-2月期	3-5月期	6-8月期
全社	YoY	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%	▲17%	▲17%	▲13%
	QoQ	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%	▲10%	+7%	▲6%
YoY	(M)	+39%	+31%	+17%	+5%	+3%	▲7%	▲12%	▲20%	▲26%	▲16%
	(R)	+14%	+31%	+25%	+24%	+15%	+7%	▲8%	▲10%	▲19%	▲22%
	(S)	▲59%	+33%	▲10%	+24%	+14%	▲37%	+4%	▲17%	+70%	+34%
QoQ	(M)	+23%	▲10%	▲3%	▲2%	+21%	▲19%	▲9%	▲11%	+12%	▲7%
	(R)	+19%	+2%	+8%	▲6%	+11%	▲4%	▲7%	▲9%	▲0%	▲7%
	(S)	▲33%	+118%	▲23%	+11%	▲39%	+20%	+27%	▲11%	+26%	▲6%
為替 レート	円/ドル	111.9	111.1	112.2	110.7	107.8	110.8	112.7	110.6	111.0	107.6
	円/ユーロ	120.9	127.9	132.4	134.2	130.9	128.9	129.6	125.9	124.7	120.6

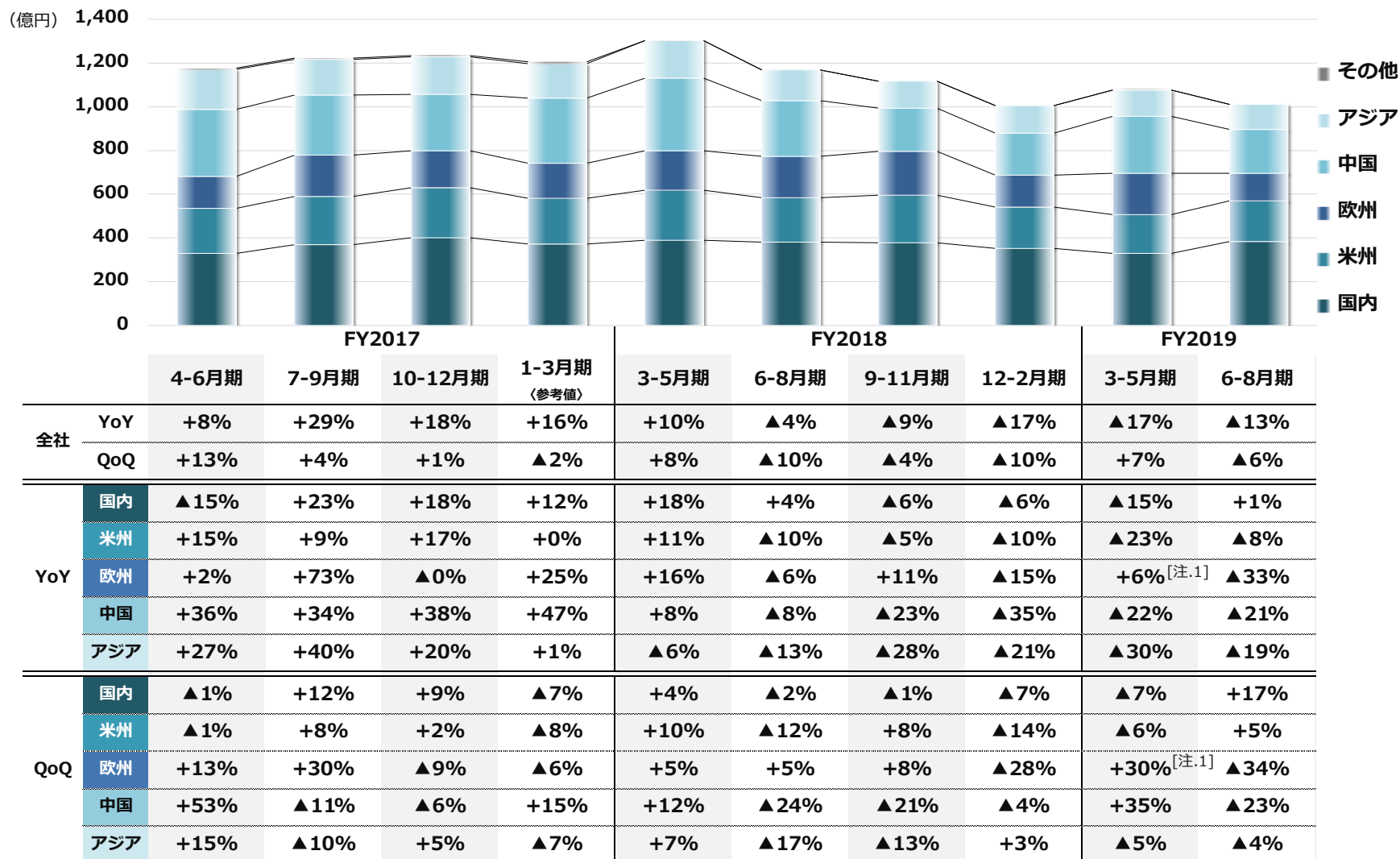
[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.3] FY2017のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用



[注.1] FY2019 3-5月期データの誤記訂正 YoY：誤 +14% → 正 +6%、QoQ：誤 +39% → 正 +30%

[注.2] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.3] FY2017のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向先の分類) 見直し前の数値を使用

主要生産拠点



YASKAWA Electric UK Ltd.
スコットランド



YASKAWA Nordic AB
スウェーデン



安川電機（瀋陽）有限公司
中国

YASKAWA Europe GmbH Robotics 部門
ドイツ

安川首钢机器人有限公司
中国

YASKAWA India Private Ltd. Robotics 部門
インド



安川電機

- 【国内生産拠点】
- ・八幡西事業所（安川ロボットセンタ）
 - ・八幡東事業所
 - ・行橋事業所（ドライブセンタ/システムエンジニアリングセンタ）
 - ・入間事業所（ソリューションセンタ）
 - ・中間工場

YASKAWA India Private Ltd.
インド

YASKAWA Europe Robotics d.o.o. スロベニア



安川（中国）機器人有限公司
中国



上海安川電動機器有限公司
中国



YASKAWA America, Inc. Drives&Motion 部門
アメリカ



YASKAWA Canada, Ltd.
カナダ



YASKAWA America, Inc. Motoman Robotics 部門
アメリカ



YASKAWA Mexico, S.A. de C.V.
メキシコ

YASKAWA Elétrico do Brasil Ltda. Motoman Robotica do Brasil
ブラジル

- 安川電機 国内生産拠点
- 海外主要生産拠点

YASKAWA